



【第二回】

「川崎大師平間寺」参り

毎年、多くの初詣客でにぎわう「川崎大師平間寺」。たまにはゆったり散策を楽しもうと思いい立ち、小春日和に恵まれた平日にぶらりとでかけてみました。



7,240冊もの大蔵経を収蔵する「経蔵(きょうぞう)」。飛天(天女)を配した天井画に惚れ惚れ



今回はノーマルをバクリ。小倉や胡麻も(各120円)



おばちゃんとの会話も弾む仲見世通り



境内の片隅にある「しょうつかの塚」。美貌を祈願

「遍路大師尊像」の足元のわらじに水をかけて健康を祈念。この周りに石柱があります

「川崎大師平間寺」で決意を新たに
大山門で一礼し、お水屋で身を浄めたら、献香所でお線香を立てて、いざ大本堂へ。荘厳な雰囲気圧倒されながら、お坊さんなどのようにお祈りしたらよいかな尋ねると「合掌してお大師さまの名前『南無大師遍照金剛(なむだいしへんじょうこんこう)』を唱えてからお願い事をどうぞ」とのこと。早速目を閉じて唱え、家族の健康やらあれやこれやとぶつぶつ。ちよと欲深かつたかしらと再び外へ出ると、石柱をなでている人の姿があります。「遍路大師尊像」を囲んで建てられた88本の石柱を巡ると、四国八十八カ所を参拝したのと同じ「利益がある」と信じられているんですとお坊さん。それなら私もとじっくり巡りながら、またしてもあれやこれやと祈願。つい頼みすぎてしまう私ですが、お参りして何だか胸がすっとしたような気がします。



威風堂々とたたずむ大本堂に入ると、自然と身が引き締まる心もちになります

川崎大師駅に降り立つと、左前方に赤い鳥居の「表参道大師厄除門」が見えます。平日の午前中とあって人通りはまだ、これこそ食べ歩きチャンスです。入口から徒歩数十歩の「みかど」の揚げまんじゅうに惹かれ、おばさまに声をかけると「すぐに揚げるから座って待ってね」とにややかな返答。その揚げたてのおいしいこと。カリッとした皮とやさしい甘さのこしあん、気分上々で散策スタートです。せんべい屋やだるま屋を横目に歩を進めると、「創業明治17年」の看板を掲げたそば屋を発見。随分歴史があるんだと眺めていると、お参りを済ませたらしい老夫婦がのれんをくぐっていきます。つられて私も中へ、ちよと賢沢に上天せいろを注文してみようと、大きな海老はブリ、ブリ、お皿からはみ出そうな穴子はフワフワ、そばもコクのあるつゆも絶品。すっかり満足しつつ店を右手に出ると、いよいよ「川崎大師平間寺」へと続く「仲見世通り」の始まり。角に



ボリューム満点にれそ「松月庵」の上天せいろ

たたずむ



老舗「松屋総本店」で、あの「とんとこ飴切り」の実演をやつていないか尋ねると「どうぞどうぞ、見ていってください」と早速トントコ！軽快なリズムで切られた



飴を切っている音は「残したい日本の音風景100選」に選ばれているのだとか



本日の収穫シャント

松屋総本店
創業明治初年。川崎大師初の飴専門店。必見とんとこ飴切り。
住所：川崎市川崎区大師町4-39
電話：044-277-7711
休日：無休
営業：8:30~17:00

川崎大師 松月庵
130年の歴史を誇る江戸そば。おみやげにくず餅やみつ豆も。
住所：川崎市川崎区大師町4-37
電話：044-266-0458
休日：無休
営業：10:30~20:00 (月・火は17:30まで)

みかど富士原商店
あんから粉まですべて自家製。ホカホカの揚げまんじゅうが人気。
住所：川崎市川崎区大師町4-18
電話：044-266-5816
休日：無休
営業：9:00~18:00

川崎大師平間寺
1128年に開創した真言宗寺院。厄除で名高い。境内を歩けば、数々の興味深い史跡がいっぱい。
住所：川崎市川崎区大師町4-48
電話：044-266-3420(代)
■元朝大護摩供(がんちようおごまこ)：2014年1月1日00:00~
■初大師：2014年1月20日・21日
■節分会・豆まき式：2014年2月3日
■10年に一度の川崎大師大開帳奉修：2014年5月1日~5月31日